



8月10日 (水)
今日の天気予報 ☀

電子版会員

紙面を見る

記事データベース

キーワードを入力

記事検索

トップ - 佐賀 - 全国・世界 - 文化・芸能 - 特集・連載・オピニオン - サガン鳥栖 写真館 fit おくやみ お知らせ

現在位置：トップ » 連載・特集 » さが経済・農業 » ニュース » 太陽光発電所にエミュー 日本環境テクノ

シェア 23

ツイート

G+ 0

B!

印刷

太陽光発電所にエミュー 日本環境テクノ

草食で日光遮断防ぐ

2016年07月14日 10時40分



太陽光発電施設で飼育されているエミュー。除草や害獣よけに役立っているという＝神埼市神埼町

日本環境テクノ（佐賀市、小室光春社長）が、自社の太陽光発電施設にオーストラリア原産の大型鳥エミューを放ち、雑草の除去に役立っている。育てたエミューは食肉としての出荷を見据えている。

小室社長が大分県の太陽光発電施設を訪ねた際、敷地内でエミューを飼育している様子を見学。5月に北海道にある日本最大のエミュー牧場から5羽を購入し、神埼市の施設1600平方メートルで飼い始めた。

施設では、パネルへの日光が遮断されないように、従業員が定期的に雑草を払っていたが、エミューが雑草を食べてくれることからその手間が省け、害獣よけにもなっているという。

同社では1年以内に50羽まで増やす方針。高タンパクで低脂肪の食肉や卵をはじめ、羽を使ったグッズなどの販売を計画している。

小室社長は「太陽光発電とエミュー飼育の相性はいい。ビジネスとしての普及を目指したい」と話す。問い合わせは同社、電話0952(36)9122へ。



8月10日 (水)

宅配申し込み

電子版申し込み

おくやみ